



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社ファルテック

上場取引所 東

コード番号 7215 URL <http://www.faltec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 文屋 仁志

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 (氏名) 篠田 好洋

TEL 044-520-0290

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	43,287	3.5	128	73.6	149	67.9	149	
30年3月期第2四半期	41,824	5.7	486	693.3	464		23	

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 474百万円 (%) 30年3月期第2四半期 99百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	15.99	
30年3月期第2四半期	2.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	70,184	18,192	22.9	1,713.13
30年3月期	70,480	19,052	24.1	1,809.06

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 16,065百万円 30年3月期 16,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		43.33	43.33
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	1.7	2,000	13.7	1,900	12.7	900	8.3	95.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	9,378,600 株	30年3月期	9,378,600 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期2Q	628 株	30年3月期	624 株
----------	-------	--------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	9,377,976 株	30年3月期2Q	9,355,697 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、米国の保護主義的な政策の影響や米中の貿易摩擦に対する警戒感等により世界経済の不確実性が増している中、国内では堅調な企業収益や雇用等の改善傾向に支えられ、緩やかな景気回復基調で推移しました。

当社グループの属する自動車業界の概況は堅調に推移して参りましたが、海外における不確実性が増す中で先行きに不透明感が出てきております。

このような情勢の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内におけるミリ波レーダーカバー、電装品等の新商品販売増や新規車種立上げ効果等により43,287百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

営業利益は、第2四半期以降立ち上がりの新規車種準備費用等により128百万円（前年同期比73.6%減）となりました。経常利益は、営業利益減を主因として、149百万円（前年同期比67.9%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、149百万円（前年同期は23百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

（日本）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、ミリ波レーダーカバー、電装品等の販売増や新規車種立上げ効果等により、32,596百万円（前年同期比3.7%増）となりました。セグメント損失は、第2四半期立ち上がりの新規車種準備費用や西日本豪雨の影響等により、30百万円（前年同期は437百万円のセグメント利益）となりました。

（アジア）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、お客様の生産が堅調に推移したこと等により5,674百万円（前年同期比7.2%増）となりました。セグメント利益は、操業増効果等により、435百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

（北米他）

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、お客様の生産減の影響等により5,016百万円（前年同期比1.5%減）となりました。セグメント損失は、米国子会社における新設事業の準備費用の計上等あったものの、英国子会社の現場改善効果等により前年同期比84百万円改善し、267百万円（前年同期は352百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ295百万円減少し、70,184百万円となりました。この変動の要因は、現金及び預金の減少2,847百万円、子会社新規連結等に伴う投資有価証券の減少865百万円に対して、有形固定資産の増加3,178百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ563百万円増加し、51,992百万円となりました。この変動要因は、借入金の増加1,801百万円に対して、支払手形及び買掛金の減少1,283百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ859百万円減少し、18,192百万円となりました。この変動要因として、株主に対する配当406百万円を実施しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.2ポイント減少し、22.9%となりました。

有形固定資産の増加については、将来の需要増への対応やものづくり力強化を目的とした設備投資を行っていくという方針のもと、当第2四半期連結累計期間において九州地区への投資3,168百万円を実施し、戦略商品のミリ波レーダーカバー事業の北米での新規立上げ対応として464百万円を実施しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は10,283百万円となり、前連結会計年度末比で2,847百万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は、730百万円（前年同期は2,512百万円の収入）となりました。主な資金の増加は、減価償却費1,909百万円、税金等調整前四半期純利益149百万円であります。主な資金の減少は、たな卸資産の増加額1,013百万円、仕入債務の減少額749百万円、法人税等の支払額673百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、3,867百万円（前年同期比2,696百万円の増加）となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出3,828百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、971百万円（前年同期比797百万円の増加）となりました。主な内訳は、長期借入れによる収入4,400百万円、短期借入金の純減少額1,290百万円、長期借入金の返済による支出1,248百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成30年5月15日の「平成30年3月期 決算短信」で公表致しました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,130	10,283
受取手形及び売掛金	18,752	18,543
商品及び製品	3,067	3,803
仕掛品	664	628
原材料及び貯蔵品	2,717	2,966
その他	1,932	1,477
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	40,250	37,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,155	7,585
機械装置及び運搬具（純額）	5,762	6,428
工具、器具及び備品（純額）	1,271	1,316
土地	6,991	6,980
リース資産（純額）	1,844	1,291
建設仮勘定	3,611	5,213
有形固定資産合計	25,637	28,815
無形固定資産	1,070	1,006
投資その他の資産		
投資有価証券	1,233	367
繰延税金資産	2,038	2,087
その他	257	224
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	3,522	2,673
固定資産合計	30,230	32,495
資産合計	70,480	70,184

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,759	10,475
電子記録債務	4,233	4,649
短期借入金	11,105	9,799
1年内返済予定の長期借入金	2,480	2,477
リース債務	1,282	1,049
未払法人税等	580	127
賞与引当金	800	743
課徴金引当金	249	86
その他	5,182	6,367
流動負債合計	37,673	35,778
固定負債		
長期借入金	6,044	9,154
リース債務	537	235
退職給付に係る負債	5,949	5,527
再評価に係る繰延税金負債	1,007	1,007
その他	216	288
固定負債合計	13,755	16,213
負債合計	51,428	51,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,291	2,291
資本剰余金	609	609
利益剰余金	11,042	10,479
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,942	13,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134	115
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	1,935	1,935
為替換算調整勘定	1,851	1,412
退職給付に係る調整累計額	△898	△776
その他の包括利益累計額合計	3,022	2,686
非支配株主持分	2,086	2,127
純資産合計	19,052	18,192
負債純資産合計	70,480	70,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	41,824	43,287
売上原価	36,387	38,000
売上総利益	5,437	5,286
販売費及び一般管理費	4,950	5,158
営業利益	486	128
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	19	7
持分法による投資利益	17	31
未払配当金除斥益	-	53
その他	46	64
営業外収益合計	91	167
営業外費用		
支払利息	66	68
為替差損	19	29
その他	28	49
営業外費用合計	113	147
経常利益	464	149
特別利益		
補助金収入	-	17
特別利益合計	-	17
特別損失		
固定資産除却損	11	17
特別損失合計	11	17
税金等調整前四半期純利益	453	149
法人税等	314	209
四半期純利益又は四半期純損失(△)	138	△60
非支配株主に帰属する四半期純利益	114	89
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	23	△149

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	138	△60
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	331	△19
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△446	△516
退職給付に係る調整額	74	121
その他の包括利益合計	△39	△413
四半期包括利益	99	△474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	0	△485
非支配株主に係る四半期包括利益	99	11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	453	149
減価償却費	1,831	1,909
のれん償却額	4	4
賞与引当金の増減額（△は減少）	△124	△55
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△257	△273
受取利息及び受取配当金	△27	△18
支払利息	66	68
持分法による投資損益（△は益）	△17	△31
固定資産除却損	11	17
売上債権の増減額（△は増加）	936	29
たな卸資産の増減額（△は増加）	△583	△1,013
仕入債務の増減額（△は減少）	1,018	△749
その他	△482	103
小計	2,829	140
利息及び配当金の受取額	27	18
利息の支払額	△66	△67
課徴金の支払額	-	△149
法人税等の支払額	△278	△673
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,512	△730
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,497	△3,828
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,410	-
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
長期前払費用の取得による支出	△31	△44
その他	△50	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,170	△3,867
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,558	△1,290
長期借入れによる収入	-	4,400
長期借入金の返済による支出	△1,336	△1,248
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△694	△737
セール・アンド・リースバックによる収入	-	255
ストックオプションの行使による収入	50	-
配当金の支払額	△404	△406
財務活動によるキャッシュ・フロー	174	971
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47	△115
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,468	△3,740
現金及び現金同等物の期首残高	6,106	13,130
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	893
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,575	10,283

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,440	5,292	5,091	41,824	-	41,824
セグメント間の内部売上高 又は振替高	439	32	10	482	△482	-
計	31,880	5,324	5,102	42,306	△482	41,824
セグメント利益又は損失 (△)	437	387	△352	472	14	486

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成30年4月1日至平成30年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,596	5,674	5,016	43,287	-	43,287
セグメント間の内部売上高 又は振替高	594	73	19	687	△687	-
計	33,191	5,747	5,036	43,975	△687	43,287
セグメント利益又は損失 (△)	△30	435	△267	137	△8	128

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。